

| | | | |
|--|------------------------------|-----|---------------------|
| 第6回 第5分科会会議録（概要） | | 場 所 | 新宿区役所 第一分庁舎7階研修室 |
| 日 時 | 平成17年9月2日 午後7時00分～午後9時00分 | 記録者 | 【学生補助員】 竹前、渡辺 |
| | | 責任者 | 区事務局（松浦・池田） |
| 会議出席者：27名 傍聴者1名 （区民委員：22名 学識委員：1名 区職員：5名 ） | | | |
| <p>■配布資料</p> <p>①第5回会議録</p> <p>②前回の「区民委員の話し」の記録（8月26日）</p> <p>③今後のスケジュール（案）</p> <p>④区民提言のイメージ（6/18全体会配付資料より抜粋）</p> <p>⑤第5分科会のメーリングリストについて</p> <p>■進行内容</p> <p>1. はじめに</p> <p>2. 今後の進め方について</p> <p>3. まとめ</p> <p>4. 事務連絡</p> <p>■会議内容 （区民委員：●、学識委員：◎、区職員：○）</p> <p>1. はじめに</p> <p>○：配布資料の確認（5点） 本日の進め方について</p> <p>●： 地区協議会との関連について、資料を配っていただけませんか？</p> <p>○： 地区協議会は、各特別出張所地区単位で行っています。区民会議と地区協議会の違いについて、簡単にまとめた資料を次回お配りします。</p> <p>2. 今後の進め方について（全体で話し合い）</p> <p>○： 本日、廣江先生は体調不良のためお休みですので、ご報告します。 今日は、リーダーの選び方と、今後の進め方について話し合っていたきたいと 思います。区民会議の趣旨は、あくまでも区民の方が主体となって運営していた だくというものです。また、配付資料の「区民会議提言のイメージ」の資料を見 てください。各分科会にリーダー1名、サブリーダー2名を選出していただくと なっています。リーダーには分科会を総括してもらい、中心となって会議を進め ていただき、9月からの進行についてまとめ役になっていただきます。また、各</p> | | | |

分科会のリーダーで世話人会を作り、分科会同士の意見調整等を行っていただきます。

本日は、選出方法等について話し合ってくださいますが、リーダー・サブリーダーは今日決まらなくても結構です。今までの作業の過程の中で、委員同士で、ある程度分かり合えてきたと思います。どうすれば全員が合意してリーダーを選出できるか、その決め方について話し合ってくださいたいと思います。当面は、まとめ役といった形で4名程度を決め、その中で運営していただき、徐々にリーダーを選出していきたくと思っています。もちろん会議はリーダーだけではなく、全員で司会や書記などの役割を分担していきたくと思っています。

また、「今後のスケジュール案」について、区のほうから案を示させていただきます。来年2月19日の中間まとめの発表まで、どう進めていくかについて、話し合ってくださいたいと思います。

では、話し合いにあたり、どなたかに司会をやっていただきたいと思っています。できれば、今までに司会、書記をやっていない方をお願いします。

(立候補なし 司会1名を指名・・・本人了承)

○： それではAさん、司会をよろしくをお願いします。リーダー・サブリーダーの選び方、今後の分科会の進め方、の2点について皆さんで話し合ってくださいたいと思います。

司会： 司会をやらせていただきます。職業は編集の仕事を、家業は飲食店を営んでいます。神楽坂で街づくりに10年間携わってきた関係で、この会議に応募しました。今回のテーマはリーダー、サブリーダーの決め方、今後の進め方でよろしいですか。本来は、知らない同士で話をする中で自然発生的に、リーダーが選ばれていくものだと思いますが、時間的な問題もあり、自薦・他薦を含めて選ぶという事務局側の意向にそって進めたいと思います。ほとんど初対面の方ですので、いきなりリーダーを決めるのは、なかなか難しいと思います。そこで、その前に今後の進め方について、今までの反省、リーダー・サブリーダーの選出も含めて、どなたかに発言していただきたいと思っています。テーマを限定すると話しにくいと思いますから、始めの一人二人は、口火を切る意味も兼ね、自由に発言していただいて、次の段階として徐々に本題に移りたいと思います。どなたかお願いします。

●： 私は、新宿区内で染色業を営んでおります。これまで、いろいろ皆さんの話を聞いて、興味深いものを感じております。私は皆さんとお話しする中で、落合地区に50年住んでいながら、新宿区の事をまだまだよく知らないと感じました。そこで、提案なのですが、これから具体的な事を話し合う上で、私達が新宿の地形や環境を知らないのもいかがなものかと思っています。第5分科会の開催場所を各地域の地域センター等で持ち回りにするのはどうでしょうか。テーマがまだ決まっていますが、新宿を知るという事で提案いたします。

司会：私は、個人的には賛成です。神楽坂の場合は、牛込筆筒センターもあり、便利な場所にあります。しかし、集合して解散して、それだけになってしまうという懸念もあります。たとえば落合でしたら、地域に詳しい方に多少の説明や商店街など主要な場所を案内してもらうようにしては、ということも思いつきました。個人的には落合地区にはほとんど行きませんので、いい機会だと思います。皆さんがどうお考えか、賛否で結構ですからご意見をください。

●： 私は西新宿8丁目に住んでいます。私達の消費者団体連絡会は、高田馬場を拠点として活動していますので、消費者センターにも来ていただくと嬉しいです。確かに、皆さんの話を聞くと、まだ知らないことが多過ぎるのだと感じます。新宿にどんな問題があるか、皆さんが知ることのできるような資料が、交流の広場などにあるといいと思います。地域を知る資料が交流の場に何もありませんでした。まず知る事が大切だと思いますので、交流の場に資料を揃えていただきたいと思います。私達の団体は25年間、新宿区と一緒に活動してきましたが、区の基本計画の主な取り組みには載っていません。今度は、区の予算がつくような活動だけでなく、区の予算がつかないボランティア活動等も反映されるような基本計画にしたいと思います。よろしくお願いします。

司会：資料についての意見には賛成です。会の趣旨に反する事でなければ、より多くの資料があったほうが良いのではないのでしょうか。会議場所の提案には、賛成ということでもよろしいですね。今お二人に短時間で話していただいたように、一人3分を目安に、できるだけ多くの方に話してもらうと良いかと思います。先程の会議の場所を変えるという提案については、反対等の意見はありますか？

●： 私は2回程欠席しております。先日、学識委員が富士山のたとえ話をしてくれましたが、よくわかりませんでした。我々は仕事をしており、社会的にそれなりの地位もある。そこで力を貸そうと思い参加したのだが、内容は学校のゼミのようだ。登山にたとえるというのなら、もう分科会という登山道がそれぞれ決まっているのだから、2月19日の中間まとめの発表に向けて、もうそろそろしっかりした事を決めた方がいいのではないのでしょうか。テーマが決まり、そのために各地域を見るのならいいのですが、ただ単に地域を知ろうとするのでは、第5分科会がこれからどこに向かってどうなっていくのか分かりません。今まで6人の方のお話を聞き、今回からやっと具体的な方向がみえると思って参加したのに、これから第5分科会はどういう方向に進んでいくのか。時間もないことですから、ひとつひとつの議題について討論するのではなく、はじめから一人3分でスピーチしてもらえば良いのではないのでしょうか。皆さんのご意見が伺いたいと思います。

司会：司会の立場からの意見ですが、今日の課題が与えられておりますので、それに沿って進めているのですが、その前にご提案があったので、その案について決定していくという形でよいと思います。今のご意見が、どなたに対してかは分か

りませんが、どう進めていくかは全員の考えで決めるものです。それに対し新宿区や学識委員はあくまでも私達のサポートをしていただくという形です。皆さんの意見が多ければ、それに従っていきたいと思います。他の方ご意見はありますか？

- ： 西新宿3丁目に事務所を持っております。前回、角筈地区について話をさせていただきました。第3分科会では、街歩きを重要と考えて9月～10月毎週土曜日に街歩きをしています。それを活用すれば、地域を要領よく見ることが出来るのではないのでしょうか。ご紹介です。

司会：最低限のルールとして、どなたかがお話しているときは横から声を上げたりしないようご了承ください。

- ： まずテーマを決めて、そのための議論をするという意見に賛成です。テーマを決めて、グループ別に議論していけば、グループリーダーが決まっていくと思うので、その中から全体のリーダーを決めればいいのではないのでしょうか。街歩きについては、たとえば商店街がテーマに決まってから、グループの人達が現地を見に行くという方が良いと思います。その際は、分科会とは別にスケジュールを組む方が良いと思います。

司会：2つの意見がでました。ひとつは、色々な地域から来ている方がいる事で、まず地区を全部知ることがこのような計画を策定する上では有効である、あえて立ち止まるような行動をとる事で、逆に議論が早まるというもの。また、それらは分科会とは別に有志だけで、プライベートの時間等、別の機会で行うべきだという意見です。

- ： 今までは、予備知識的なことを話してきました。私は、この区民会議では、たとえば新宿の30万人の住民のうち1割が外国人になった事について、どう考えれば良いのか、というような全体的な議論に入るのが本来だと思います。地区協議会が10月から立ち上がりますが、今までのような議論はそこで話される事と、重複しているように思えます。4つのテーマに分けて議論してきましたが、そろそろ専門的にジャンルを分けて議論するべきか、それとも全般的に議論していくのかを決めないと、ダラダラした会議になってしまうのではないかと思います。

司会：スピードアップし、テーマを絞っていこうという意見が出ています。効率よく議論を進めるためにもリーダー、サブリーダーを選ぶ必要があるのだと思います。

- ： 今、何の議論をしているのかよく分かりません。会場を変えたらどうかという意見が最初にでましたが、議論のテーマをそこに絞らず、皆が違うことを言っています。また、司会者がひとつひとつの意見に、感想を言う必要はないと思います。今日の会議を早急に進めていただきたい。

司会：司会のタイプはいろいろあると思いますが、私は意見をまとめる上で、自分も意見を言う方がいいと思っています。皆がテーマをもっと深め、基本的議論はもう

いいから、先に進んでいこうという事だと思います。グループ分けについてどうするのか。先程出た意見で、グループに分かれ、それぞれのリーダーから選ぶということも、一つの方法だと思います。前は6つのグループに分かれて、グループ内の方を知ることができたと思います。そうすればリーダーも選びやすいと思います。今のご提案に質問ですが、今日はどういうグループで分ければ良いとお思いでしょうか。

- : 各地域の会場で会議を行うという意見もあり、それは別に良い事だと思います。また、それは時間的には難しいので、別の機会でという意見もありました。グループ分けの方法については、事務局にまかせても良いのではないのでしょうか。

司会 : 各地域で開催するという意見や、時間がないので個別に行うといった意見がでています。方法論の違いで、基本的には同じ方向だと思いますので、やり方については、また別の機会に決めたらどうでしょうか。

- ◎ : 学識委員から意見を述べさせていただきます。会議について、どう進めていくのかということですが、結論から言えば、私達たちは産業、文化・観光について、どうしていこうかという事を決めていませんでした。先程、不安だというご意見がありました。やり方についても決めていません。このような進め方は普通の会社の会議ではありえないことで、目的地を決めない方法です。なぜ、この方法を選んだかを先に説明します。分科会に参加している皆さんは、これまでいろいろな経験がありますし、新宿区にもいろいろな提言があります。今までのやり方だと、それらが重複してしまうのではないかと考えています。そこで、皆さん力量がある方たちですから、一種のチャレンジをしています。新しいことをやるためのチャレンジを不安に感じることも十分に理解できますが、ここは期待と不安の二面性を持つ部分です。ですから意識として（より良い会議にするために）リスクをとっているのだということを念頭においていただきたいのです。時間に関しては申し訳なかったのですが、時間が限られている中で、小さな時間をきっちり守ることを積み重ねる意味で、学校のゼミのような形をとりました。しかし、会の行く先や、やり方などは、できるだけ流れの中で決め、いろいろなやり方をするために、予め決めないことを選択しました。説明が十分ではなかったため、皆さんの中で混乱している部分がある事を、私も感じていました。今の説明でも不十分かもしれませんが、今の状況としては、リスクをとっている、時間という制限もあるという状況です。今までの7月・8月にはシャッフルしたグループ分けと、テーマ別のグループ分けでの会議がまず終わりました。9月にはリーダーを決める予定です。ここまではある程度意図していた流れです。リーダーが決まれば、ある程度、学識委員の役割はなくなったといえます。学識委員は、この会議を従来通りの、やる事や役割分担のきっちり決まった形の会議ではなく、より精神的な、各個人が自由に意見を出しつつも形に残っていくものにしたいと考え

ています。たとえば、皆さんにとっていただいた記録は、後に必ず役に立ちます。学生補助員が取っている客観的な会議録と、皆さんが自分の視点で見たものと比べて微妙に違う部分が出てくるでしょう。今後、テーマを絞って考えていく際に必ず役にたつと思います。会議をどうするんだという言葉ではなく、こうしていきますよ、という積極性のある言葉が出てくれば、盛り上がってくると思いますし、皆さんもそういう考えでいらっしゃると思います。もちろん否定的な意見が悪いわけではなく、さまざまな意見を盛り込みながら議論していただきたいと思います。そして、今回はリーダーの決め方、進め方という事です。あくまで意向ですが九月末までにリーダーを決めたいと考えています。今申し上げた事を認識していただいて、皆さんの意見をいろいろ出していただきたいと思います。

●： 私は、各地域に行く案に反対した訳ではありません。ただ、違った考え方もあるのではという意見を言っただけです。私たちは、2ヶ月忍耐してきました。前回学識委員がそろそろ具体的に考えましようと言いました。自由な発想は結構ですが、海に出るなら、泳ぐのか、船に乗るのか、飛行機を使うのか、いろいろな方法があります。船に乗ると決めたとしても、オールで漕ぐのか、全員で押すのか等たくさんの方が考えられます。しかし私達は今、それ以前で足踏みしてしまっています。10年後の基本構想というテーマがあるのですから、少なくとも、どのようなやり方で会議を進めるのか決まらないうちに、リーダーが決められないのは当然ではありませんか。第5分科会をどう進めていくべきか話し合うべきです。皆さんの意見を聞かせていただき、より良いものを選択したい。

●： 私は会場を変えるという意見を出しましたが、気分を変えるために提案したもので、街を知るために提案した訳ではありません。誤解のないようにお願いします。分野内だけでテーマ別に話し合うのであれば、この会議が存在する意味は無いと思います。産業の人が産業について語り合うのならば、この会は必要ありません。私もそろそろ、産業という立場ではなく、三つの観点から他の方の話を伺いたい。他の分野の方達が、どのように考えているかを知ることが必要な時期が迫ってきています。産業だけでもものを考えている時代ではありません。産業、文化・観光が一つになり、そこからテーマを見つけて、そのテーマごとに話すというのが、この会の本来のあるべき姿ではないかと考えております。私は、地場産業である印刷と染色から参加していないと言われ、あえて手を挙げました。ところが、参加してみると印刷、染色各1名しか来ていません。これで、産業の話ができるわけがないと区に言ったところ、区は団体の参加を求めているわけではなく、業界に関わっている区民の一人として参加して欲しいとの回答を得ました。それなら、自由な立場で話ができるし、情報の共有化により悩みも共有できると思い参加しました。産業、文化・観光の分野別ではなく、それを一つとして、テーマを決め会議を進めたい。「話し合いの素カード」の次のものとして、次週までに各自がテ

ーマを考えてきて、それぞれの立場から話し合うというのが、この会議の本来のあり方ではないでしょうか。行き先は決まっています、10年、15年後の新宿です。しかし、産業会館の例のように、15年間無駄にした夢物語で終わるようなことは、自分の年齢を考えても許容できるものではありません。あまり熱くならず少し距離を置き、ラフな気持ちで10年15年後の新宿について、語り合えればいいなと思っています。

- ： 私達は自分の住む地域のことしか分かりません。一方、新宿区の職員は新宿区全体が見えていると思います。このまま3つのテーマで自由に議論していたら、2月の中間まとめの発表まで話しがまとまらないのではと思います。早く議論を進めるために、新宿区の職員や学識委員から区の問題点等を出してもらい、私たちはそれをたたき台にして、話し合ってみてはどうでしょうか。

司会： 整理すると、今の意見は3つのグループに分かれているものを、一つにまとめてその中からテーマを抽出し、議論していくということですね。

最初にてた開催場所を変えるという意見が、街歩きに拡大解釈されてしまいました。違う場所を見て歩くという事自体は良いと思いますが、時間もないことですので、この件については分科会以外の場という事も含めて、別の機会に話し合いたましよう。

- ： 平成10年からの基本構想に、区の考えは十分に出ていますので、これを読めば良くわかると思います。ただ、区民の考えは入っていません。区の施策が知りたければ、自分で勉強していただき、わからなければ直接、職員に聞けば良いと思います。1年間という限られた時間の中で、より区民の声を反映させた基本構想にするために、時間を有効に使いたいと思います。確かに、ひとつのジャンルの中だけにいたら井の中の蛙になってしまうと思います。第5分科会を一つにまとめて、議論するという意見に賛成です。

司会： 三つのグループを、一つにまとめるという事ですね。どう進めていくのか、具体的にお伺います。

- ： もう一度、参加したいグループの希望を聞いてみてはどうでしょうか。そうすればグループを変わる方もでてくると思います。そして、新しいグループの中でそれぞれ司会やテーマを決めていけば、効率よく議論ができるのではないのでしょうか。たとえ15人などの大人数になったとしても、グループとして、テーマを決めて話をまとめることはできると思います。テーマは一つだけでなく、グループの中で複数あっても良いと思う。そうすれば、産業、文化・観光が溶け合ったグループも作れるのではないのでしょうか。

司会： 確認ですが、産業・文化・観光・全般の四つのグループの中で、もう一度、自分が入りたいところを自己申請するという提案でよろしいですね

- ： それでは、単に同業者だけが集まり、同じ話しの繰り返しになってしまうのでは

ないでしょうか。私は、もっと皆さんが全般に集まり、そのなかで必要に応じてテーマ別に話しをすればいいのではと思います。

司会：4つのグループではなく、1つのグループにするということですか。

●：グループは分かれても良いですが、全員が全般という形でこのテーマについて話し合う、次回はまた全員で別のテーマについて話し合う、というように各回によってテーマを決めるというアイデアはどうでしょう。

司会：グループの分け方など、細分化などについてももう少し具体的に教えてください。

●：今日は産業、次回は観光というように、全体で一つのテーマについて、話し合っただけではどうでしょうか。全員では多すぎるので、その際、グループ分けはしてもいいと思います。

●：やはり同じグループでやっているのと、同じ話の繰り返しになってしまい、他の方の意見も聞く事ができない。この産業、文化・観光の三つのテーマは、どこかで繋げていかななくてはならないと思います。私も最初は、いろいろな意見を聞きたくて、全般のグループに入りました。話の中に、いろいろなテーマがでてきましたが、繋ぐ前に終わってしまいました。これをひとつひとつ繋げて、発表し、まとめていく必要があるでしょう。全般的に、同じテーマについて話し合っても、光る意見があれば表に出てくるものだと考えています。同じ分野のテーマについて、同業者だけで話し合うというのでは、地区協議会が行っていることと同じで、この会議での意味がないのではないのでしょうか。

司会：分け方について具体的なお話をしましょう。

●：産業、文化・観光に分かれて、3つのジャンルについて新宿区の問題を考えると、地域の問題として考えられないか、また、地域を絞らずに、多様な現れ方をしている全ての地域を見て、三つのジャンルを地域の問題としてひとまとめにして見ることはできないでしょうか。第3分科会がテーマにしているのは、ハードの部分の街づくりですが、第5分科会として、各地域の暮らし向きというソフト面も理解しなければいけないと思います。自分の住んでいる地域の認識を深めていくべきだと思います。

司会：先程、区側から各テーマについてレクチャーをしてもらいたいという意見も出たが、それよりも自分たちの問題意識とした方がいいのではないのでしょうか。

●：それには賛成です。行政の過不足無く作られたレポートには、地域の問題があまり浮き出てこないのではないのでしょうか。やはり、自分達で問題を指摘していく方がいいと思います。

司会：今まで皆さんから出た意見は、根本的な方向としてはそれほど違わないものかと思えます。それでは、4つのグループに分けるか、それとも1つにして全体で話し合うのかについて、意見をお願いします。

◎： 学識委員から少し説明させていただきます。当初、特定の分野だけに取り組みたいという方がいたので、その方々へのフォローとして、グループ分けをした方がいいという意見が出たのではないのでしょうか。確かに、ここにはひとつひとつのジャンルのエキスパートが揃っているので、そこを掘り下げて、グループ分けをすることもできます。しかし、それでは地区協議会と重複する部分があるかもしれません。そこに、問題点がないようであれば、全体で話した方がいいと思います。

司会： 地区協議会について、区から簡単に説明して下さい。

○： 区職員から、地区協議会について説明を加えます。地区協議会は、各特別出張所別に10月に立ち上がる予定で、それぞれの地域の問題点について話し合います。メンバーが全て決まった所も、まだメンバーを募集中の所もあります。また、この区民会議と地区協議会で参加が重複していてもかまいません。

●： 再度、グループ分けをした方がいいではありませんか。

●： まず、全員で同じテーマについて話し合いをした方がいいと思う。そして次回のテーマは、前回に決めておき、各自がテーマについてある程度の結論を準備してもらい、それを持ち寄るという形にすれば、効率的に進められると思います。

●： 話し合いの素カードが、そもそものつまずきの原因であった気がします。「新宿区がすぐに解決すべき課題」とあったので、あのカードに書けば、それがすぐに実現すると皆が誤解してしまいました。今後、私達が自主的に運営をしていくなれば、新たに10年20年後の新宿について、皆さんの持っている夢を次回までに出していただき、それを素に話し合うのもひとつの方法だと思います。それぞれが語るだけでは、時間がなくなってしまいます。皆さんの提案の中で10年20年後の新宿について話し合っていけば、一番効率的に話し合いができるのではないのでしょうか。地場産業の中にいる私でさえ、もう産業を語っている場合ではないと思っています。これから入ってくる異文化を、どうとらえていくか。そもそもエイサーを歌舞伎町でやる事自体が、新宿の文化としてのプライドをなくしていると思います。異文化、異業種との共生を、どう考えていくのか。将来の事を考えるならば、新たなテーマを持ち寄って、話し合うことは決して無駄にはならないし、発表の場にも生かせると思います。

●： 今までに一度も発言できなかった方もいらっしゃると思います。できれば、今まで一度も発言していない方の、意見を聞きたいと思うのですが。

司会： それでは、今日の会議でまだ発言をしていらっしゃる方に、30秒程度で意見をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

●： 私は印刷業に携わっている者です。所用で欠席が多く、前後のつながりがつかめていない部分があります。印刷業は、確かに地場産業と言われますが、実際には取引先も企業ですし、実感がそれほど無いのが現状です。ただ、この会議から印

刷業全般に、こうしてほしいという要望があれば、反映させることが出来ると思っています。

- ： 今回が初めての出席になります。テーマについては、全体の中から具体化していく方法がいいと思います。
- ： 毎回、会議の方向性が見えないため歯がゆく思っています。目的が定まらないまま話し合っていることに、疑問を感じています。
- ： 今回の議論は、今後の進め方と、リーダーの選出についてでした。前者については色々な意見がでました。後者については、まず全体をいくつかのグループに分け、その中でリーダーを決めていくというやり方に賛成です。
- ： 重要なことは、論点の抽出の方法と、皆さんが新宿にどんな夢を持っているか、という2点についてだと思います。疑問をぶつけ合い、各人がある程度テーマについて家で結論をまとめて、それを持ち寄るというやり方が効果的だと思います。グループ分けについては、極端な話しをすると、全く無くてもいいかと思えます。
- ： 区が問題点をまとめて提示する案に賛成です。私は1～2年前までサラリーマンをしていたこともあり、現場についてそれほど詳しく知りません。また、今まで区が出した大量の資料からでは、論点が絞れないと思います。区が現在の問題点を簡潔にまとめてくれるのが必要ではないでしょうか。
- ： 将来の新宿が、どうあるのか話し合ってきました。たとえば文化といっても、行政主体のものもある、マナーも文化と考えられる、観光も文化に含まれるなど、色々な視点があります。私は新宿区に40年住んできましたが、新宿についてあまり考える機会がありませんでした。10年20年後の新宿を視野に入れ、住んでよかったと思われる新宿を創れるような、夢について考えていきたいです。最終的な基本構想は、美辞麗句を集めたものかもしれませんが、区民会議の参加者の意欲が少しでも結びつくものにしたい。会議の進め方については、次回のテーマをあらかじめ決めて、将来について皆さんが考えることを持ち寄り、発表し合うというのがいいと思います。
- ： 次回のテーマを決めておくようにすると良いと思います。また、今までの議論でそれぞれ論点が出ていたと思いますので、持ち寄ると良いと思います。
- ： 区民の方それぞれの考えが違うのは、当たり前だと考えます。その上で、色々な意見が聞けることが興味深いことです。区が出している基本構想はきちんとできているものの、オブラートに包まれた美しい言葉で書かれていますので解釈によっては色々なことを期待してしまいます。そのような、上から考えられたことではなく、この区民会議で、それぞれの区民の方から出たことについて考えていきたいです。それが長期的に新宿を作っていくための、大きな一歩だと思います。
- ： 区がテーマを提示する事は、この会議の趣旨に反することだと思うので反対です。この会議は、私達住民の方から区にしてほしいことの見解を出すチャンスです。

それは、今までの計画を一部でも、ひっくり返すものであってもいいのではないのでしょうか。行政の政策に息を吹き込めるものを提言していきましょう。

司会： 個人的意見ですが、区民会議で話し合った意見が、まとまっていれば、行政を変える事もできるのではないのでしょうか。ですから、思い切ったことをやってもいいのではないかと思います。

ここで今まで出た意見をまとめると、

1. グループ分けする場合、三つのテーマ全体を相関関係のあるひとつのジャンルとして進める。
2. 全体について話し合う場合、効率的に進めるために、次回のテーマを決める。
3. 皆さんの夢について、カードをもう一度提出してもらい、発表する。
4. 次回のテーマについて、各自で意見をまとめてくる。

こういうものでよろしいでしょうか。また、他に行政側から個別に情報提供してもらおう等ということもありました。次回はまずグループ分けせずに全体で一つにテーマについて話し合うことにしましょう。テーマを次回まで決めることができれば、グループ分けはその場で5分くらいあればできるでしょう。

●： 今日、司会を引き受けてくださった方に、当面リーダー役をお願いできないでしょうか。また、そのほかに今回意見を出された2名の方に世話役として、次回のテーマについて事前に事務局と話し合った上で、全員に知らせていただけないでしょうか。

司会： 事務局から全員に通知する事は可能でしょうか。司会については、やりたい方がいないか希望者を募ってみてはどうでしょうか。女性も1名入ってもらった方が、違った視点で良いと思います。次回のテーマを決めるために、打合せを行う時間がある方が望ましいでしょう。

それではアイデアを出したAさん、Bさん、女性でCさんに、次回までの世話人になってもらってよろしいでしょうか。（拍手）

●： 世話人には、ぜひ司会の方にも入っていただきたい（拍手）

司会： では、A、B、Cさんに司会を含めた4名が、次回の世話人となります。（拍手）

4 事務連絡

◎： 前回、メーリングリストはインターネットから閲覧可能と説明しましたが、Yahoo Japan のIDが無いと見られないことが分かりました。IDは無料で登録できます。これにより今までの発言内容を見ることができ、さらに無料でメールアドレスを入手することもできます。

また、メーリングリスト上で、情報共有と宣伝は区分しづらいこともあると思いますので個人的には広報活動もかまわないと思います。

○： 次回の会議は、9月12日（月）午後7時からです。場所は、本日と同じ、新宿区役所第一分庁舎7階研修室で行います。

以上